



バントゥ諸語（アフリカ）から 日本の言語・方言のアクセントを捉え直す



多良間島

多良間島方言の声調

ピッチ変動の有無と位置によって

3つの音調型が区別される。

青井隼人 (2019)「南琉球宮古多良間方言の欠性的低音調」『音韻研究』22.

下降パタン

上昇パタン

- 1 *madu=mai* *madumai* *madumai*
暇=も
- 2 *jadu=mai* *jadumai* *jadumai*
戸=も
- 0 *juda=mai* *judamai* *judamai*
枝=も

アフリカでは2つの声調の対立 [H] vs. [L] がしばしば /H/ vs. /φ/ の対立で解釈される

欠性的対立 PRIVATIVE OPPOSITION

多良間島方言の3つの音調型はPWd末の /L/ の有無と位置による区別と解釈できる

音声的対立	音韻的対立	言語例
[H] vs. [L]	/H/ vs. /φ/	ソマリ語 (アフロ・アジア語族)
[H] vs. [L]	/φ/ vs. /L/	ルウンド語 (バントゥ諸語)
[H] vs. [L]	/H/ vs. /L/ vs. /φ/	ナンデ語 (バントゥ諸語)

Hyman (2001) Privative tone in Bantu, *Cross-linguistic studies of tonal phenomena*, ed. by Kaji Shigeki, 237-257, ILCAA.



青井隼人 (2019)「南琉球宮古多良間方言の欠性的低音調」『音韻研究』22.

ツォンガ語 (バントゥ諸語) の /H/ は形態素境界を越えて右に拡張していく

音調の移動 TONAL MOBILITY

多良間島方言の /L/ は句境界を越えて右の無指定のモーラに拡張していく

h-a#xaviselan-a 'we are selling to e.o.'

vá-a#xávísélán-a 'they are selling to e.o.'

H → (句末の母音には拡張しない (Nonfinality))

Kisseberth, Charles and David Odden. 2003. *Tone. The Bantu Languages*, ed. By Derek Nurse and Gerard Phillippon, 59-70, Routledge.

L1 *adañ+kii=mai* *kuba+kii=mai*
アダñ+木=も ビロウ+木=も

L0

adan+kii=mai *kuba+kii=mai*

L → /L/ は右に拡張される

青井隼人 (2019)「南琉球宮古多良間方言の欠性的低音調」『音韻研究』22.

ツォンガ語 (バントゥ諸語) の /H/ 拡張は別の /H/ によってブロックされる

必異原理 OBLIGATORY CONTOUR PRINCIPLE

多良間島方言では /L/ が連続した場合、拡張は止まり、右側の /L/ が削除される

ndzi#vóná xí#hlámbétwána 'I see a cooking pot.'

H →

ma#tandzá 'eggs' の /H/ によって拡張がブロックされる

ndzi#vóná má#tandzá 'I see eggs.'

H → X H

Kisseberth, Charles and David Odden. 2003. *Tone. The Bantu Languages*, ed. By Derek Nurse and Gerard Phillippon, 59-70, Routledge.

L1 *adañ+kii=mai* *mami+kii=mai*
アダñ+木=も 豆+木=も

L2

adan+kii=mai *mami+kii=mai*

L → 右側の /L/ は削除される X (H)

青井隼人 (2019)「南琉球宮古多良間方言の欠性的低音調」『音韻研究』22.